



業界初！！体験を軸にした家庭教育セミナー

## 家庭たいけん教育を学ぼう！

家庭には子どもが成長する機会がたくさんあります。しかし、便利で快適なモノが増え、子どもが体験できる機会が失われてしまいました。その結果、体験不足で意欲もなく、自分らしさを見つけられない青年も増えています。

家庭に体験の場をつくりましょう。そして、子どもたちを自ら学び自立する子に育てましょう！

やる気、対話、体験を家庭でつくりだせ！

## 三つのチカラがキーワード！



興味関心を高め、夢や希望をつくる「ホンモノ体験」。チャレンジの土台である”やる気”を高める「コーチング」。家族会議での対話により解決を生み出す「ファシリテーション」。この三つのチカラを統合し、

家庭に安心感をつくります。もちろん、私たち大人も子どもと同様に学び、成長していくことを目指します。子どものおかげで私達も成長できる。その関係こそが育ち合う家族なのです。

### 佐藤 陽平 一般社団法人 ひとねるアカデミー代表

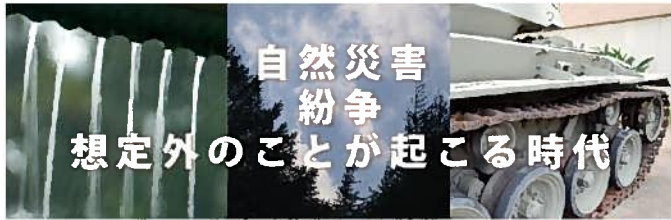


大分県臼杵市出身、豊後高田、別府育ち。大学時代に探検部部長を歴任し世界を周る。大手企業に入社したが1年で退職。長野にある自然体験教育を実践するNPOに参画。のべ1,000人を超える子どもたちや青年に体験教育を実施。実績を買われ、経済産業省の人材育成事業の受託や大学の体験型学習法の実践など、国、民間、教育機関まであらゆる業種の人材育成に携わる。

臼杵にUターン後、ただの体験ではなく意欲的に変わる独自の体験教育法を「家庭」でできるよう体系化。

臼杵にUターン後、ただの体験ではなく意欲的に変わる独自の体験教育法を「家庭」でできるよう体系化。

- 資格：全国自然体験活動主任、RAC 水辺のレスキューマスターインストラクター、水辺のファーストエイドインストラクターなど。
- マスコミ実績：フジテレビ、たけしの日本教育白書直前スペシャル、政府インターネットテレビ、ベネッセ：チャレンジャー年生、関西ラジオなど。
- 行政との実績：文部科学省(独)国立青少年教育振興機構 家庭でホンモノ体験「はじめての包丁と刃もの」プロデュース、経済産業省 農商工連携促進人材事業受託など。



自然災害、紛争、想定外が当たり前の不安ありきの社会です。こうした社会では管理が進み、閉塞感の中で生きることが求められます。「あれダメ、これダメ」は人々のやる気を奪い、考えることさえ面倒だと感じる無気力な人間を生み出します。また社会への当事者意識も薄れ、誰かがやってくれる、自分さえよければいいという風潮になっていきます。

今こそ主体的に問題解決する知恵を体得する教育が必要  
「ひとねる」が目指すのは、不安や問題を知恵を出し合いながら主体的に解決していく社会です。そのためには教育の風景が変わる必要があると考えました。今こそ、知識よりも主体的に問題解決する知恵を体得する教育が必要です。

私たちが考える子どもが伸びる環境とは、のびのびとチャレンジでき、失敗も許される寛容な場、そこに関わる人々が育ち合う場です。人を信じながら共に成長する前向きな場でこそ、夢や希望、生きる知恵が生まれるからです。

まずは家庭の中から始め、共に社会を変えましょう。  
この実現には政治が社会を変えるトップダウンより、私たちが市民一人ひとりの考えから幸せな社会に変えていくボトムアップ、つまり民主主義が大切。しかし日本の投票率は現在50%にも及びません。家庭が変れば社会も変わります。家庭たいけん教育で育った子どもたちが、自らの幸せと持続可能な社会を創る30年後のために、まずは私たち大人がよく学び、幸せな家庭をつくる姿を見せませんか？

# 便利は育てにくい



ゲームの方が楽しいし、いつも塾とお稽古に行ってるし。



外は危ないし、やることねーもん

これでいいのかな？

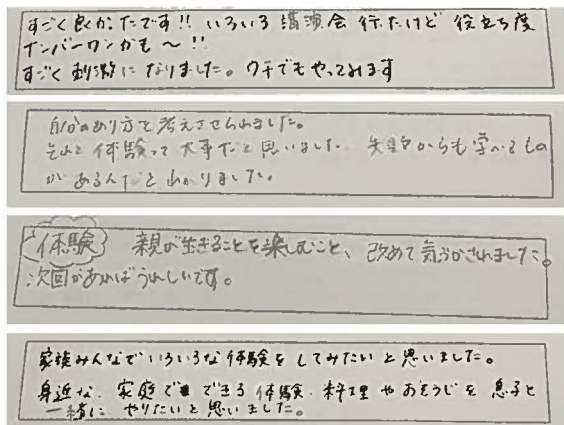
家庭に3つの場をつくろう！



- やる気の場**  
どんなに良質な体験も本人にやる気がなければ、苦痛でしかありません。まずはやる気ができる場をつくりましょ！
- 家族会議で対話の場**  
子どもは家族の対話により問題解決の方法を学びます。家族会議の中で対話の場をつくりましょ！
- ホンモノ体験の場**  
やる気と対話により自分がやりたいことが明確化してきます。子どもたちがチャレンジできる場をつくりましょ！



## 講演会で具体的に学べます



多くの大人が机上の勉強だけではなく体験も大切なことに気づいています。しかし実際は便利なのが增えゲームが当たり前のようにある状況で、どのようにして体験の場をつくり、どのように声かけをすれば良いのかわからないのではないのでしょうか。また、いつしか私たち大人は「こらっ危ない！」や「ダメ」が口癖となっていないでしょうか。家庭たいけん教育の講座では、「やる気メカニズム」や「家族だんらんを生み出す時間の作り方」や「家庭でできる体験教育」などをお伝えしていきます。家庭に体験の考えを入れることで親もゆとりが生まれ、子どもは体験の機会が増え成長していくことができます。

<http://www.hitoneru.com/kateidetaiken/>



■お問合せ  
一般社団法人 ひとねるアカデミー  
tel 090-4573-4017  
mail info-htnr@hitoneru.com  
佐藤陽平（さとうようへい）